

雇用促進・就労定着 Project

令和3年度 第1回 学習会報告

今年度 第1回目の学習会は、共通の悩みどころや対応課題を感じている企業同士がリモートで集まり、テーマを3つに分けて小グループでの学習会を行いました。

先に開催された「雇用・定着のポイント」をテーマに協議を行った8月の例会において、各企業が共通して感じている課題として、
 ・実習時の評価⇔雇用後の実際のギャップが大きく差が出ないための視点をどう持ったら良いのか
 ・雇用後に改めて知った特性の部分にどう関わるか などがあげられました。

今回の学習会はその内容を細分化してテーマを設定し、学習会の担当企業が中心となり、成功事例も失敗事例も赤裸々に企業同士で意見を出し合う会となりました。

【社会性】

9/6 開催

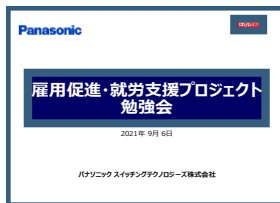
担当企業：パナソニックスイッチングテクノロジーズ株式会社

～思い通りにならないことに葛藤したり、自分のルールなどを主張する方への対応～

企業という組織に所属し働いていくには「本人の望むことになんでも応えてあげられるわけではない」という率直な意見があげられました。特に製造業では、安全面のルールを守れないことは命にも関わります。安全面や品質面において守らなければならない「ここだけは」の線は、ご本人の価値観から外れていても辛抱強く伝えていたことを伺いました。

雇用前に、社会性の未熟さや他者の意見を受け入れ難い障がい特性の情報だけでなく、「どのように働きかけるのが良さそうか」など実際の関わり方について共有する時間がしっかりと取れたら良いという意見も聞かれました。

“社会性の未熟さへのフォロー”については、本来業務を担う現場のスタッフの負担にならない様に、雇用管理者側が行っている状況もあるようです。社内でのフォロー体制の構築や障がい特性理解のための取り組みが必要だろう、という意見交換がされました。



【雇用管理】

9/16 開催

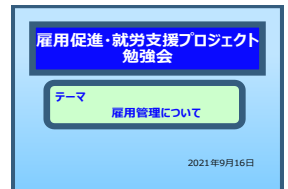
担当企業：帯広ガス株式会社

～新規で雇用したい、雇用人数が増えた場合の対応方法～

日頃より、障がい者雇用のみならず、企業全体の雇用管理に携わっているメンバーでの意見交換となりました。

「障がい当事者同士」「一般職員と障がい当事者」それぞれの間に立ち調整役を務めている中で、皆さんが共通して抱えている悩みやご苦労が率直に共有された会となりました。

複数雇用の現場での業務分担は、業務へのマッチングを図りながらも一緒に働く方との相性を考慮する必要もあり、適所に配属できるよう業務場所や時間帯を分けるなど具体的な対策を講じている状況を伺いました。今後新たな雇用に向けて準備をしていきたいと考えている企業に向けて、業務へのミスマッチが起こる可能性を少しでも低くするための取り組みとして、トライアル雇用制度や企業を訓練先とした「委託訓練」などの制度を活用した企業からのアドバイスがありました。



9/24 開催

【社員の成長】

担当企業：社会福祉法人 音更町柏寿協会

～今までできていたことができなくなったり、成長が思うように感じられない方への対応～

現場で障がい当事者と関わる機会の多い現場担当者が多く参加された会となりました。

本人のモチベーションの変化や、障がい特性による課題から、一生懸命教えても「できない」と言われたり、反抗的な態度をされたりすることもあり、担当者として手に負えない気持ちを抱えながらも、ご本人と向き合う生の声が共有されました。

同じ様な経験をされながらも本人の態度の改善や緩和につなげることができた企業では、ご本人と現場担当者の間に入り、仲介的にお互いの気持ちを聞くための役割をもった担当者がある場合も多いようです。

内面的な成長やスキルアップ・キャリア形成面での成長は、入社して間もない方だけではなく長く勤務されている方にも当てはまる課題です。

その成長を支えるためには、現場担当者が孤軍奮闘するのではなく、企業全体でフォローする体制を構築していく必要があり、そのためには企業内での障がい者雇用に対する理念の共有や障がいのある方の役割を作ることが大切であるという意見交換がされました。



結成3年目を迎えた雇用促進・就労定着プロジェクトは、プロジェクトの活動に関心をもって集まるメンバーの輪が広がっています。

今回の学習会には、今年度新しくプロジェクトに参加された企業の代表だけではなく、現場担当者も積極的に出席いただいた学習会になりました。

これまでの活動を通して、成功事例だけではなく失敗事例も共有しあえる関係が築かれていくことで、同じ悩みを抱えている同士だからこそわかり合うことができる場・お互いを労う場から、それぞれの企業の具体的な対策や解決に向けた取り組みを学び合い、企業が新しいヒントを得て力をつけていく機会へと深まっています。